

# 長生村社会福祉協議会長賞

福島県／22歳／女性／会社員

でみせ ももは

出店 桃葉 様

✉手紙の相手：画家の齋藤清

齋藤清様

こんにちは。没後二十六年も経ってからこんなお手紙が届いて、さぞ驚かれたことと思います。私はあなたの描いた「会津の冬」という絵に感銘を受け、今年の春に会津若松市に引っ越してきました。

一年前の夏、私は群馬県で大学生をしていました。就活で第一志望の会社に落ち、すっかり進路を見失っていた私が、息抜きに行った美術館で見たのがあなたの絵でした。あなたは生前、ふるさとである会津の絵を何十枚も描かれたでしょう。私が見たのはそのうちの一枚で、雪景色の中に青いのれんのうなぎ屋さんが描かれているものです。私は瀬戸内海の生まれで、そんな景色は見たことがありませんでした。こんなに静まり返った景色なのに、そののれんからはたしかに人が生活している温かみを感じられました。私は長い間その絵の前に立っていました。そうして美術館を出て

すぐに、福島県の求人を探し始めたのです。

求人は一件だけありました。全く知らない分野でしたが、私はその会社の面接に行き、「齋藤さんの絵に描かれた土地で暮らしたいんです」と話し、受かりました。今、その会社の新入社員として会津若松で働いています。あなたの描いた一枚の絵が、私をここに連れてきてくれました。本当にありがとうございます。

四月に引っ越してから、春、夏、秋が過ぎ、会津にはもうすぐ冬が来ます。あなたの描いた雪景色を私も見るのだと思うと、今から楽しみでなりません。いつかお会いできたら、あなたの時代の会津の話をとくさん聞かせてください。私も私の会津の話ができるよう、これからはいっぱいここで暮らしていきますね。

✧手紙への想い✧

就活をしていた時期のあの絵を見たときの感動を本当に作者の方に伝えたいと思ひ書きました。